

平成28年

季刊

秋季号

Vol.59

# 亞東



社会見学会（世界遺産富岡製糸場）



一般社団法人亜東親善協会

The East Asian Friendship Association

## 一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

## 事業

- ① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版
- ② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介
- ③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋
- ④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談
- ⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら發起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

平成二四年一月六日「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、平成二五年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月、安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

季刊「亜東」平成二八年 秋季号・目次

一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷	二頁
目次・協会役員名簿	三頁
会長あいさつと報告	四頁
台湾フェスタIN代々木公園について	六頁
台湾フェスタ二〇一六in代々木公園の報告と御礼	八頁
社会見学会	一〇頁
社会見学に参加して	
留学生代表感想文	一三頁
台湾留学生と国士舘大学柴田ゼミとの交流	一四頁
事務所だより	一五頁

平成28年5月12日

### 一般社団法人亜東親善協会役員名簿

名誉会長 (理事以外)	1名	玉澤 徳一郎			
参 与 (理事以外)	1名	橋本 靖男			
会 長 (代表理事)	1名	大江 康弘			
副 会 長 (理 事)	4名	山本 順三	張 建国		
		張 碧華	多 忠和		
専務理事	1名	赤松 則宏			
業務執行理事	4名	藤山 雅康			
〃		並木 正芳			
〃		柴田 徳文			
〃		笹岡 恭亮			
理 事	10名				
崎谷 秀彦	小松 省二	益山 茂	松永理恵子	三浦 信行	伊野 雅晴
山口 裕志	森 康郎	永島 剛士	小山 博史		
監 事	2名	李 ハロルド	鈴木 慶一		
事 務 局		崎谷 秀彦			
		李 孔曉			

一般社団法人 亜東親善協会

## 会長あいさつと報告

会長 大江 康弘

皆さん お元気ですか。

いつも私共、亜東親善協会に力強いご支援ご指導を頂いております事に心より感謝と御礼を申し上げます。

本年は中華民国建国一〇五年、各地で盛大に国慶節祝賀会も開かれ、私も参加させていただきました。今年は特に「国家とは何ぞや?」「国とは何か?」をあらためて考えさせられました。

それは国会議員が二重国籍問題で、いとも簡単に自らの国籍を放棄する、又それが「いつ?」「何年に」放棄したのか又していないのか、こんな大事な事さえも忘れてしまうほど軽く考えている由々しき事があったからであります。これには驚くと同時に呆れてしまいました。中華民国台湾の皆さんにとっては国連離脱後は「国」という正にアイデンティティーが絶えずつきまとう月日の連続であったと思います。私などはもし、もう一つ国籍を与えられるのであれば迷わず「台湾籍」が欲しいほどです。

さて、昨年から今年にかけて日本国内と中華民国台湾とで大きな出来事が二つありました。一つは中華民国台湾



の政権が代わったことです。国民党から民進党に、馬英九政権から蔡英文政権に代わりました。この政権交代は国民党から民進党に、そして今回民進党から国民党にと三回代わりました。如何に、この国が民主国家であるかの大きな証左であります。

世界が中華民国台湾をどのように見ようが、又国連が国として認めていなくても私は立派な独立国家であると認識しています。国家の定義とは何か?それは先ず「土地」があり、そこに「人」が住み、そして最も大切な「主権」を持つという事です。この三つが一つになって(三位一体)国家を形成します。法の基に人や国を治めていく正に法治国家、そして国のリーダーが民主的な選挙で選ばれる民主国家こそが中華民国台湾であります。

その国において今回三度目の政権交代が行なわれました。私共は二三五〇万人の国民が選挙で選んだ蔡英文総統、民進党政権としっかり向き合って、今日まで進めてきた両国の友好な関係を更に深化し、前進させていく決意です。

今一つは、昨年(二〇一五年)石川県金沢市で開催された



日・台交流サミットです。この大会は、金沢市議会日台友好  
議連会長の安達前先生が中心となって三年近く準備して進め  
てきたものです。

本年五月には福岡で「全国日台友好議員協議会」として正  
式発足し、九月には和歌山市で（遠藤富士雄先生が実行委員  
長となり）第二回 日台交流サミットが、この五月に新しく  
大使として赴任された謝長延大使閣下のご出席のもと盛大に  
開催されました。

安達前理事長、藤田和彦会長のもと全国の地方議会におい  
て、永年日台交流を重ねてきた議員の皆さん方が参加され、  
一つの大きな和を作って新しい時代に向けた日台関係を地方  
から構築していこうという集まりがスタートした事は画期的  
なことであり、今後この「全国日台友好議員協議会」の活動  
が多いに期待されるものと思います。



今日の両国の良好な関係は、決  
して一朝一夕で確立されたもので  
はありません。先人の皆さんや多  
くの方々の日々の絶ゆまぬ努力の  
積み重ね、何よりもお互いの国を  
大切に想い、台湾が好き、日本が  
好きだという気持ちが行動となっ  
て積み重ねられた結果でありま  
す。勿論、最終的には国対国のや



仁坂和歌山県知事

御礼を申し上げる次第です。

又、この度参議院時代からお付き合いをいただいでいまし  
た前法務大臣岩城光英先生並に元復興大臣平野達男先生のお  
二人が理事を引き受けてくれることになりました。大変心強  
い次第であり、親台派のお二人の参加に心より感謝と御礼を  
申し上げます。

このような活動に参加をしなが  
ら改めて思うことは、私もできる  
だけ早くもう一度政治の現場に戻  
り皆さんと一緒にあって、友好・  
親善に力を注いで参りたいと決意  
しています。

どうか引き続きご指導の程、宜  
しくお願い申し上げます。



## 台湾フェスタIN代々木公園について

二〇一六年東京で開催された台湾フェスタ二〇一六IN代々木公園ですが、実は中華民国建国一〇〇年を迎える二〇一一年に第一回目の開催が予定されていきました。しかし、三月十一日に発生した東日本大震災のため、開催は見送られることになりました。

大震災により甚大な被害を受けた日本に対して、台湾からは暖かい励ましのことばや二〇〇億円を超える多額の義援金が届けられました。この出来事は、日本と台湾の深い友好関係や強い絆が築かれるきっかけとなりました。

それから五年後の二〇一六年七月三〇日、三十一日、中止となった第一回台湾フェスタIN代々木公園は、日本在住の華僑、更なる日台友好を願う多くの台湾人・日本人の協力のもと、台湾フェスタ二〇一六IN代々木公園として開催するに至りました。

初めての開催ということもあり、準備不足もありましたが、二日間で一〇万人以上の来場者を迎えることができ、日本と台湾の大手企業や観光関連企業、東京都を始めとする自治体など、多くのサポートをいただき、日本と台湾の交流イベントとして、最大級の成果を上げることができました。

また全国の華僑、台湾との交流を支援して下さる日本人な

ど、多くのボランティアが参加する、民間交流としても有意義なイベントとなりました。

こうした皆さまからのご協力や企業・団体・自治体からのご支援によって、台一回目となる台湾フェスタ二〇一六IN代々木公園は開催することができました。心より感謝御礼申し上げます。謝辞。

さて、今後の台湾フェスタIN代々木公園ですが、引き続き多くの方々や企業、団体、自治体のご支援いただくこととなり、「台湾フェスタ二〇一七IN代々木公園」として二〇一七年七月二十九日（土）、三〇日（日）に開催することが決定いたしました。

台湾フェスタ実行委員会は、日本在住の華僑、台湾人ももちろん、日本と台湾の交流を応援して下さる多くの方々と共に、「観光・産業・芸能・文化・美食」のテーマを通じて、さらなる日台交流を進めていきたいと考えております。また、ご支援いただく日本と台湾の自治体同士の経済交流につながる「日台交流サミット」の企画も準備しております。台湾フェスタIN代々木公園は、台湾の魅力を多くの日本の方々知ってもらおうイベントです。日本と台湾が観光、文化交流以外に、経済の結びつきも強くなれば、地理的に近い両国の渡航者数はさらに増えることは間違いありません。

日本と台湾の更なる交流と発展を目的とした台湾フェスタ二〇一七IN代々木公園では、テーマのうち「観光・産業・文化」は経済交流を目的とした、「日台交流サミット」の舞台として設定・演出を行います。両国の観光、産業、文化を対比することで、新たな発見が生まれ、相互理解が深まり、交流と発展につながると考えております。

「美食」は、フリースペースのテント内で、料理の実演を行います。臨場感溢れる台湾料理の実演と本格的な台湾の味の追及により、多くの来場者に台湾の「美食」を満喫していただきます。

「芸能」は、台湾人アーティストや台湾で活動する日本人アーティストなど、日本と台湾に関わりの深いアーティストを中心にステージを構成します。もちろん、前回好評だった中華獅子や台湾民族舞踊もイベントを盛り上げる重要な役割を担います。全体的に、前回よりもさらに高いクオリティーで企画・演出を予定しております。

このように、台湾フェスタ二〇一七IN代々木公園は、日本と台湾の更なる交流と発展を目的として開催されます。今回もこのイベントが成功することによって、日本と台湾のみならず、アジアの平和、国際親善の推進に少しでも役に立つようになればと考えております。

つきましては、皆様に台湾フェスタ二〇一七IN代々木公

園の開催趣旨や企画内容をご理解いただき、ご支援ご賛同を賜りたく存じます。

ご検討のほど、宜しくお願い申し上げます。

台湾フェスタ二〇一七IN代々木公園

実行委員長 朱 恭亮（日本華商総会副理事長、東京華僑

総会名誉会長）

副実行委員長 林 冠銘 謝 茂根

矢部 孝 富田 家彰



## 台湾フェスタ二〇一六 in 代々木公園の報告と御礼

台湾フェスタ二〇一六 in 代々木公園実行委員長

朱（笹岡）恭亮

この度七月三〇日（土）、三一日（日）に東京の代々木公園野外音楽堂にて開催されました『台湾フェスタ二〇一六 in 代々木公園』では、亜東親善協会には後援を頂きました。大江会長には発起人顧問をお引き受け頂きました。

また多くの理事をはじめとする会の皆様からは多大なご協力、ご支援を承りまして実行委員会を代表しまして心より御礼と感謝を申し上げます。

ありがとうございます。

さて、この度のイベントですが、貴社の目的である「アジア諸国との友好親善の増進」という事と、イベントの目的が「日台交流」という事で（一社）亜東親善協会には、主体となる後援団体になっていただきました。お陰様で、交流協会、東京都、渋谷区、石川県、和歌山県などの団体、自治体、また、エバー航空、チャイナエアライン、トランスアジア、タイガーエアライン、エイスペースなどの台湾の会社、また、au、HIS、キリンビールなどの日本企業からの多くのご協力、ご協賛を頂く事ができました。

私共華僑と台湾を応援していただいている日本の方々と有



志で構成する台湾フェスタの実行委員会ですが、今回のイベントは、開催日の一三ヶ月前に東京都の公園課から公園を借りる許可がおりる事となっており、約一年半前から準備をしてまいりました。東京の後援と出店に関しては、都の日台議連幹事長小磯あきら都議に実行委員会顧問として、都庁との窓口となっていたできました。

東京都の公園では、最大のイベント会場である代々木公園ですが、「タイのフェスタ」をはじめとする様々な国がイベントを開催しています。

代々木公園での第一回目の台湾のフェスタと言う事となり、広い公園という事もあり、屋台での台湾料理の出店者と台湾系の協力団体の募集に関しては、初回という事で、とても厳しいものがありました。

また、二〇一六年初めには、政権の交代もあり、台湾政府関係の観光局、代表処、文化局、広報関係の協力がどの様に要請するかとても難しい時期もありました。しかし、貴団体をはじめ多くの台湾を応援している方にイベントの主旨と目





ては、暑さもイベントとしては来客数も多かったのではないで故も無く良かったのではないでしようか。

初日午後から開催したOPENINGセレモニーは、多勢の後援、協力、協賛の方々に来場頂き、代表処からは郭仲熙副代表、衆議員秋元司氏、亜東親善協会大江会長、都議小磯明氏にステージに上がっていただきご挨拶を頂きました。

亜東からは並木理事、赤松副



的に賛同とご支援を頂き、無事にイベントを開催させて頂きました。結果としては、二日間であ場者が一〇万人以上を数え各参加者、各ブース等々、目標以上の販売及び販売促進活動が達成できたとの報告をいただきました。

当日はとても暑い日となりましたが、台湾を表現するにおい

会長、崎谷事務局長をはじめ多くのの方々にご来場いただきました。

二日間のステージでの音楽イベントは、台湾からアーティストも多く呼んでおりましたので、クオリティも良いものが出来ました。

反省点としては、フードブースの各ブースでのフード提供が、第一回目という事で混雑してしまつた事と、文化ブースなどで、日本と台湾の歴史的な関わりなどをもっとアピールできれば良かったと思つて

います。多くの皆様のご協力本当にありがとうございました。今回のイベントは、嬉しいことに色々な方より、次回の開催のリクエストをいただきました。

先日、都の公園課より来年の公園の使用の許可をいただきました。つきましては、より一層の日台交流の発展を目指し、来年の『台湾フェスタ in 代々木公園』を開催する事となりました。どうぞよろしく願います。

台湾フェスタ二〇一七 in 代々木公園について



## 社会見学会

恒例の社会見学会が一〇月二六日、好天に恵まれた中で行われました。

大江会長、赤松専務理事、並木理事、柴田理事、台湾協会の森田高光理事長、また一九名の一般参加者の皆さま、台湾からの留学生七名、日本人学生として国士舘大学から一七名、総計四二名が参加しました。

今回の訪問先は、群馬県富岡市にある世界文化遺産の富岡製糸場、マルイ洋蘭開発センター、そして旧信越線碓氷峠の眼鏡橋です。

朝八時一五分新宿に集合した一行は貸し切りバスで一路富岡市へ。

車内では赤松理事の司会で大江会長と森田・台湾協会理事長の挨拶、台湾と日本の学生代表の紹介がありました。

富岡製糸場では地元のガイドの方の案内で施設を見学しました。

その後近くのホテルで昼食。

会食の次にマルイ洋蘭開発センターを見学しました。

その後、眼鏡橋の見学。天気も良く、折からの紅葉に映えて素晴らしい光景でした。学生や体力に自信があった参加者は坂道を登って橋の上まで行き、絶景を楽しみました。

学生の感想は「眺めは素晴らしかったが、寒かった」でし



大江会長の挨拶



台湾と日本の学生代表



熱心に見学する学生たち





た。

眼鏡橋を後にして一路帰途につきました。

車内では、森田台湾協会理事長が、製作途中の記録映画「湾生回家」のDVDを試写して頂きました。とても感動的

な内容で、新宿までの長旅をまったく感じることはありませんでした。

午後七時、無事に新宿に帰り着きました。

## 社会見学に参加して

### 留学生代表感想文

筑波大学の台湾留学生の何承融です。今回は台湾留学生7名とともに亜東親善協会が主催する社会見学に参加させていただきました。他校の台湾留学生と知り合いになっただけではなく、国士舘大学の日本大学生たちと交流する機会もいただきました。国士舘大学の学生たちと両国の生活や文化の違いについて話して、とても楽しかったです。こういう交流し合うことによって普段に接触できないことをいろいろ勉強させていただきました。

今回の社会見学では群馬県の富岡製糸場、マルイ洋蘭開発センター、めがね橋を見学させていただきました。一番印象を残っているのは富岡製糸場です。富岡製糸場はもともと国宝および重要文化財で、二〇一四年に世界遺産に登録されました。私は姫路城、東照宮、白川郷に行ったことがありますので、世界遺産を見学したのは初めてではありませんが、近代史を勉強している私は、富岡製糸場のような場所には特別の感情を持っています。なぜならば、富岡製糸場は明治期の

官営模範工場として、日本の近代化の象徴だと思えます。見学していた時に、ここで働いていた人たちはどのような人だったか、自分の仕事をどう考えていたかを想像してみました。自分にとって、こういう想像を楽しめることは大学院での研究を続ける原動力になります。

今回のような素晴らしい機会をいただきまして、台湾留学生一同を代表

して感謝申し上げます。今後とも貴協会の日台親善でのご活躍を願っております。私も今回の社会見学で学んだことを活かして、日台関係の発展に貢献できるように頑張ります。参る所存です。



## 台湾留学生と国士館大学柴田ゼミとの交流

今回、留学生との交流会に参加させていただき、有難うございました。

富岡製糸場遺産は初めての見学だったので、大変興味深く学習できました。日本は開国してすぐにあのような施設を作って産業を起こしていたことを実際に目の当たりにすることが出来、先人たちの偉大さを知ることが出来ました。ただ時間が限られていたので、詳しく見る事が出来ずに残念でした。製糸の歴史や女工さんたちの生活の様子などの展示が外から見ただけだったので心残りでした。

洋蘭の施設は大規模なもので感心しました。しかしお金がなかったのが買うことは出来ませんでした。台湾の人が経営しているということで、日本で活躍している台湾人の存在を実感しました。

今回の社会見学で一番印象に残ったことは、台湾からの留学生と交流できたことでした。留学生たちは全員私たちより年上だったのですが、積極的に交流してもらって良かったです。台湾の人たちはとても気さくで、バスの中での初対面の時、大きな声で自己紹介をしてもらい皆と握手してくれました。あの積極性はなかなか日本人の私たちにはないところを感じしました。またとても陽気で好感が持てました。日本の方が台湾よりアルバイトの収入がいいとのこと、これまで

知らなかったことが学べました。

麻雀のことを話して何気なく相手を中国の人と言ったとき、自分たちは台湾人で中国人ではないと言われました。私は、国は違っていても両方とも中国だと思っていたので少々驚きました。中国と台湾は全く別の国だということを学びました。今までテレビで知っている中国人と違って、実際には全く普通の人たちだとわかりました。

眼鏡橋は紅葉を背景にしてとても綺麗でしたが、上に登ったら寒かったです。

このような機会が持てたことは幸運でした。国士館大学には大陸からの留学生は沢山いますが、台湾からの人はほとんどいません。今まで大陸の人も台湾の人も同じだと思っていましたが、会ってみると色々違うので、これから台湾の人たちと積極的に交際していきたいと思います。亜東親善協会のお心遣いに感謝いたします。またこのような機会がありましたら、ぜひ呼んでいただきたいと思えます。

柴田ゼミ、ゼミ長甲原匠

事務所だより

二〇一六年十一月活動のお知らせ

\*アジア調査会台湾シンポジウム

台北駐日代表処は毎日新聞社のアジア調査会と合同シンポジウム「激動する東アジア経済―日台の進むべき道」を開催します。同シンポジウムでは「みずほ総合研究所」主席研究員の伊藤信悟氏、「台湾三井物産」元董事長（会長）の高寛氏、「中華経済研究院」副執行長の李淳氏、「毎日新聞」論説委員の坂東賢治氏がパネリストを務め、マクロな東アジア経済の観点から台日経済の動向を考察します。お申し込み…アジア調査会（〇三―三三―二二―二六九七）十一月二十四日（木）一三…〇〇〇―一六…〇〇日本記者クラブ一〇F大ホール（東京都千代田区幸町二―二―一日本プレスセンタービル）

\*オール台湾デー

「NPOベータシックライフインフォメーション協会」が主催するイベントで、①ドキュメンタリー映画「巨塔の男―郭茂林」の上映、②八田與一技師を描いたアニメ「バツテンライ!!〜南の島の水のものゝ」の上映のほか、王碧昭・筑波大学生命環境学科教授を招き、台湾文化を紹介します。お申し込み…ベータシックライフインフォメーション協会（〇三―三三―九六―〇一七七）側（東京都練馬区練馬一―一七―一）十一月二十四日（木）一三…三〇映画上映①一五…二〇講演会一六…三〇映画上映

\*新春互礼会の開催

ザ・キャピトルホテル東急

平成二九年二月二日（木）一七時から講演会

\*新入会員のご紹介

山本勇始、安藤宇一郎、脇田忠雄、門脇利勝、山内康弘、加藤光淑

（夏季号の新会員）ご紹介でお名前前に誤りがご在居ました、お詫び方、訂正申し上げます

誤・港洋平・正・港祥平（株）ルナイインターナショナル

平成二八年七月〜二八年一〇月

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 平成28年 秋季号 (No.59)

発行日 : 平成28年11月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

発行人 : 大江康弘

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の翼 チャイナエアライン

なら、うまくいく。



ビジネスはチャイナ エアラインで  
[www.china-airlines.co.jp](http://www.china-airlines.co.jp)

